

シングルレバー混合水栓

1. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様まで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意 ...	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
! ...	「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
! ...	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)
! ...	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)

注意

(禁止)	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。	
(禁止)	湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てやけどをする恐れがあります。 ※漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	給湯器の給湯温度設定は85℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(禁止)	衝撃を与えたたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
(禁止)	【寒冷地用の場合】水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(指示)	お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。	
(指示)	寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 ヤケドの恐れがないことろまで水圧変動を押された配管設備にしてください。 ※他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	フレキホースの差し直しをする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。 ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

給湯器設定温度	85℃以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水 ※1
使用環境温度	【一般地用】 0~40℃	但し、内部の水を凍結させない	
【寒冷地用】	-20~40℃	でください。	
給水(給湯)接続	G1/2		
圧力条件	0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)(※2)	給水圧力≥給湯圧力	(※3)
取付条件	水栓取付穴: $\phi 34 \sim \phi 38$ mm、カウンター厚: 5~30mm		

※1: 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※2: 水栓金具が接続された状態での水栓金具の給水・給湯接続部直前の圧力です。

※3: 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.34MPa程度)に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。
- ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、給湯器の能力・水圧などの条件により給湯器が着火しないことがあります。
- 貯湯式電気温水器は減圧弁にて給水圧力を減圧しているため、湯の流量が少なくなる可能性があります。LIXIL製の貯湯式電気温水器と組み合わせてご使用の場合は、弊社ホームページで組合せ表をご確認ください。

LF-YE340SY型
LF-YE340SYHC型

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書に記入の上、お客様に必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
施工完了後は、本説明書を同梱の「取扱説明書」と一緒にお客様にお渡しください。

施工前のご注意

取付けに必要な工具

- 取付にはプラスドライバー、スパナ(対辺13)、専用工具KG-23が必要です。または市販のソケットレンチ(呼び13)が必要です。

止水栓と点検口を設けてください

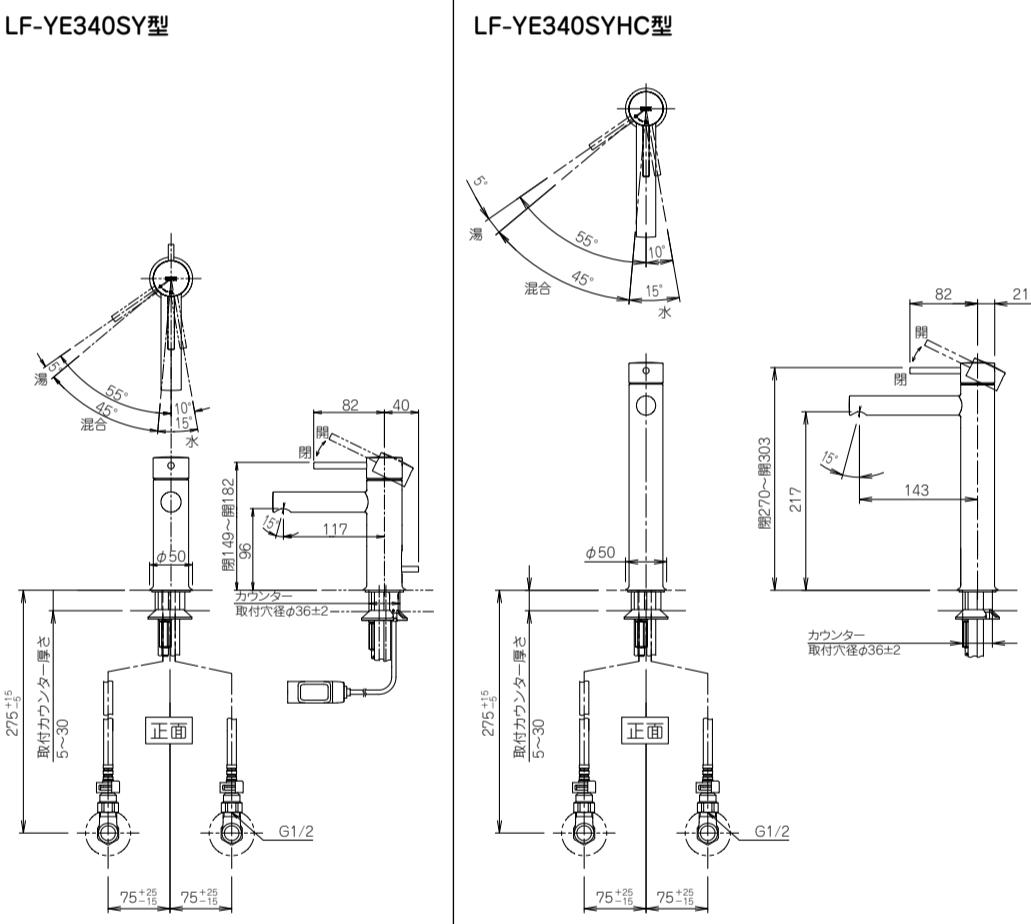
- 取付後の流量調節及び保守点検のために、止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 使い勝手や性能発揮のために**流量調節をしてください**。特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具をかける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開栓・取付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分注意してください。
- 必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください**。
- 取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取付けができない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

施工完了図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※止水栓位置の寸法は代表例です。

適正カウンター穴あけ寸法はφ36±2mmです。適正カウンター厚は5~30mmです。

Aは75±25、Bは275±15にしてください。

※化粧台に取り付けるときは、化粧台の指示する施工寸法としてください。

施工手順

